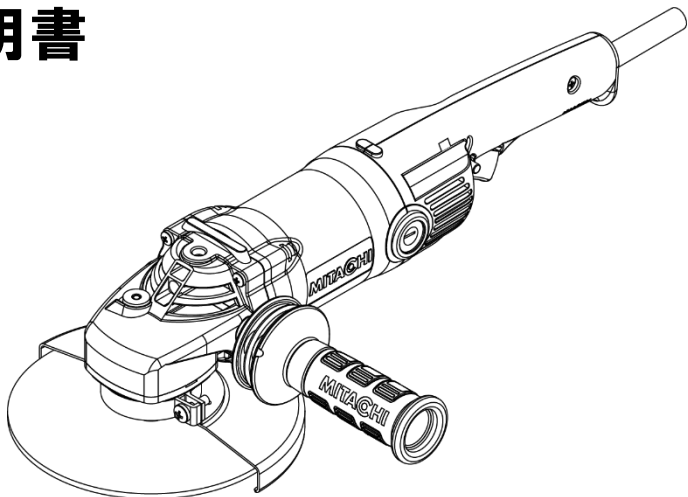


ミタチ 電気ディスクグラインダ

180mm プレーキ・安全機構付 **MG180XDK** 回

取扱説明書



- このたびは、ミタチ電気ディスクグラインダをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、本機の性能などを十分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い致します。
- なお、この取扱説明書はお読みになった後、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

⚠警告、**⚠注意**、**注**の意味について……

⚠警告 :誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 :誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 :製品の据え付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警 告
作業場の安全性 1. 作業場は、整理整頓してください。十分な照明を確保し、いつもきれいに保ってください。 ・ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因になります。 2. 可燃性の液体、ガス、粉じんのある所で使用しないでください。 ・電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。 3. 使用中は子供、第三者を近づけないでください。 ・注意が散漫になり、操作に集中できなくなる場合があります。
電気的安全性 1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。 ・改造していない電源プラグ及びそれに対応する電源コンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。 2. 金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに使用中、身体を接触させないようにしてください。 ・身体が触れた場合、感電のリスクが増大します。 屋外で使用する場合には、3. ～5. の注意が必要です。 3. 雨または湿気がある状態にさらさないでください。 ・電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。 4. コードを乱暴に扱わないでください。 ・電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のとがった所、または動くものから離しておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。 5. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。 ・屋外使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
人的安全性 1. 使用中は油断せず、常識を働かせ、いま自分が何をしているかに注意して作業してください。 ・疲れていたたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、使用しないでください。 ・一瞬の不注意が、深刻な事故の原因になります。 2. 安全保護具を使用してください。 ・作業時は常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。適切な状態で滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓やイヤマフなどの安全保護具を使

用することで、事故のリスクが軽減されます。

3. 不意な始動は避けてください。電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・スイッチに指を掛けて運んだり、スイッチが入っている電動工具の電源プラグをさし込むと不意に始動し、事故の原因になります。
4. 電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチ等は、必ず取り外してください。
・付けたままにしておくと、けがの原因になります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に適切な足場とバランスを維持することで、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
6. きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの衣服や装飾品は着用しないでください。長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。手袋を回転部に近づけないでください。
・守られない場合、回転部に巻き込まれる等の事故の原因になります。
7. 集じん装置が接続できるものは適切に使用してください。
・粉じんによる人体への悪影響を軽減することができます。

電動工具の使用及び手入れ

1. 無理に使用せず、用途に合った正しい電動工具を使用してください。
・より適切、かつ、安全な作業が行えます。
2. スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は事故の原因になりますので、使用しないで修理を依頼してください。
3. 誤って始動させるリスクを軽減するため、次の作業前は電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・準備及び調整。
・刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換。
・保管または修理。
・その他、危険が予想される作業。
4. 使用しない電動工具は乾燥した鍵のかかる、子供の手の届かない所に保管してください。不慣れな者、取扱説明書を読んでいない者には使用させないでください。
・事故の原因になります。
5. 電動工具の保守・点検を適切に行ってください。
・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、事故の原因になります。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的な点検し、破損している場合は修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は定期的な点検し、破損している場合は交換してください。
6. 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。
・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作を行えます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具等は作業条件や、実施する作業を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。
・適切に使用されない場合、事故の原因になります。
8. 異常な高温、または低温の場所で使用すると能力を十分発揮できません。

整備

1. 電動工具の修理は、修理専門要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。
・これにより電動工具の安全性を維持することができます。

その他

1. 取扱説明書はお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管し、利用してください。
・他の人に電動工具を貸し出す場合は、取扱説明書も一緒にお渡してください。
2. 十分な防じん対策や飛沫防止対策をしてください。
・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは注意してください。
3. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。
・アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
4. 加工するものをしっかりと固定してください。
・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
5. 破損した部品がないか点検してください。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に破損がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理を依頼してください。
6. メンテナンスをきちんと行ってください。
・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターに依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用した製品の保守・点検・修理は受け付けできません。

電気ディスクグラインダ 使用上のご注意

先に電動工具ご使用上の一般的注意事項を述べましたが、電気ディスクグラインダをご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

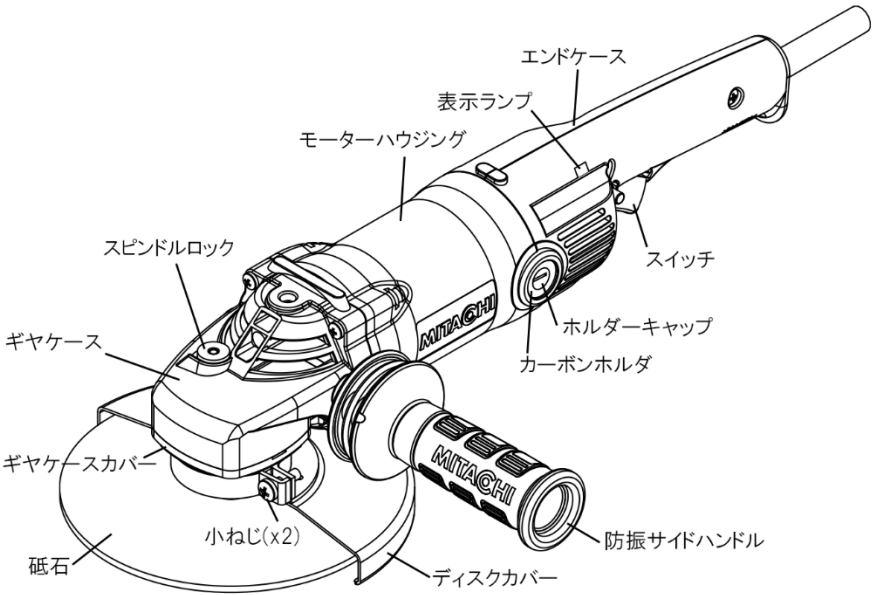
⚠ 警 告
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。 ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
2. ディスクカバーは、必ず取り付けて使用してください。 ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 使用する砥石（レジノイド砥石）は、最高使用周速度72m/s（4,300m/min）以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面で研削してください。正しい使用面以外では、絶対に研削しないでください。 ・正規以外の砥石を使用したり、また側面や上面で研削すると、砥石が破壊し、けがや事故の原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから、使用してください。 ・異常があると、先端工具が破壊し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。サイドハンドルが付属している場合は、サイドハンドルをしっかりと取り付けてください。 ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研削液などは使用しないでください。 ・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
7. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。 ・先端工具などが破壊したとき、けがの原因になります。
8. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。 ・研削粉や火花が飛び、けがの原因になります。
9. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。 ・周囲の物を飛散させ、けがをする場合があります。
10. 誤って落とした時やぶつけたときは、砥石や機体などに破損、亀裂、変形等がないことをよく点検してください。 ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 砥石を用いて切断作業する場合は、切断砥石を使用してください。 ・切断砥石以外の砥石は、けがの原因になります。
12. 切断砥石を使用する場合は、切断砥石専用の切断用カバーを使用してください。 ・切断砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
13. 切断砥石、ダイヤモンドブレードでの作業を行う際は、シグザグ切断、曲線切り、斜め切り、コジリ・側面使用をしないでください。
14. 使用中に先端工具が加工材に挟まったり、引っかかったりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。事故やけがの原因になりますので、次の点に注意してください。 ・使用中は、反動や衝撃等が生じることがありますので、本機を手放さないようしっかり保持してください。特に始動時は気をつけてください。 ・手を先端工具の近くに置かないでください。 ・キックバックが発生したときに備えて、本機作業方向の延長線上に身体を置かないでください。 ・コーナーや鋭いエッジなどを加工するときは特に注意してください。 ・指定された先端工具以外での切断作業はしないでください。
15. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。 ・火災ややけどの原因になります。
16. 使用中、機械の調子が悪い時や異常音がした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターに点検・修理を依頼してください。 ・そのまま使用していると、発火、感電の恐れがあり、けがの原因になります。
17. 刃物等の交換は、本取扱説明書に従い正しく行ってください。 ・刃物が破壊し、けがをする恐れがあります。 [事業者の方へ] 砥石の取り換え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。 [関連法令] 労働安全衛生法(第59条) 労働安全衛生規則(第36条) 安全衛生特別教育規程(第2条)

⚠ 注 意
1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。 ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出から一時身体を避けてください。 ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。 ・本機を落としたりし、けがの原因になります。
4. 試運転を行ってください。試運転時間は、「試運転を行う」の項をご参照ください。 ・試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。 ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業は行なわないでください。 ・丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

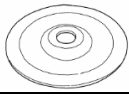
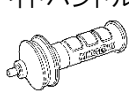
製品仕様

型 式		MG180XDK 
使 用 電 源		単相交流 50／60Hz 共用 電圧 100V
モ ー タ		単相直巻整流子モータ
全 負 荷 電 流		11A
消 費 電 力		1,050W
無 負 荷 回 転 数		7,550min ⁻¹
砥石寸法	外径	180mm
	厚さ	レジノイドオフセット砥石 8mm レジノイドフレキシブル砥石 4mm
	穴径	22mm
質 量（コ ー ド を 除 く）		3.4kg
コ ー ド		2 芯キャブタイヤケーブル 2.7m

各部の名称



標準付属品

①レジノイドフレキシブルトイシ 	1枚 (外径180x厚さ4x穴径22(mm)(フレキシブル))
②スパナ 	1個
③防振サイドハンドル 	1個
④カーボンブラシ(スペア) 	1セット

用 途

用 途	使用する市販品
鉄、青銅、アルミ物などのバリ取りおよび仕上げ溶接、溶断部の研削、さび落とし	レジノイドフレキシブル砥石(弾性砥石) レジノイドオフセット砥石
軟鋼材の切断	レジノイド切断砥石
塗装面の下地みがき、さび落とし 塗料落とし	サンディングディスク(専用パット使用) ワイヤブラシ
石材などの表面仕上げ	ハードディスク
かわらの切断など	ダイヤモンドブレード

＊ 取り付け方法については、『砥石の取り付け・取り外し』の項目をご覧ください。

二重絶縁製品について

二重絶縁の製品には”“マークを表示しています。このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので、感電に対し安全性が高められており、アース(接地)する必要はありません。

異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、またはサンコーミタチサービスセンターにご依頼下さい。

ご使用前の準備

ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. アース（接地）、漏電遮断器の設置

⚠ 警 告
・アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対にしないでください。

【注】

- ・プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。
テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと本機の金属外郭との間の導通を確認してください。
- ・地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの設置工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。

■MG180XDK 100V をお使いの場合

二重絶縁構造ですので、法律により漏電遮断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電遮断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 作業環境の整備・確認

- ・作業する場所が『安全上のご注意』にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

3. 延長コード

- ・電源コンセントの位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。
- 次の表は、本機に継ぐことのできるコードの太さ（公称断面積）とその最大長さを示します。

芯線断面積	銘板記載の定格電流値		
	5A 以下	5～10A 以下	10～15A 以下
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2mm ²	50m	30m	20m

（注）上表は 100V 品の場合であり、200V 品の場合には最大長さはこの 2 倍（以下）です。

延長コードは、アース（接地）できる 3 芯キャブタイヤケーブルをお使いください。

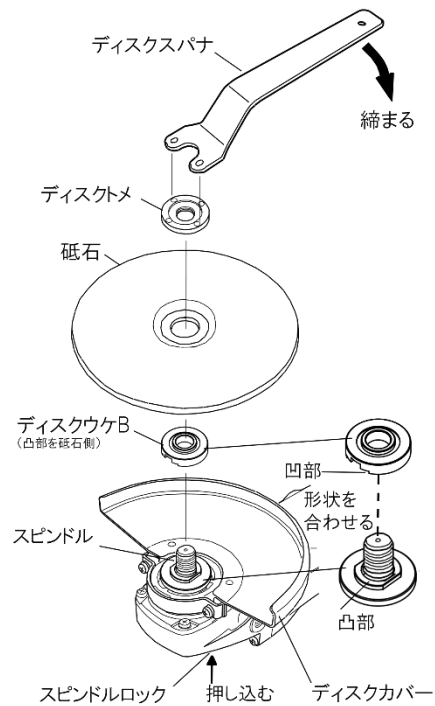
砥石の取り付け・取り外し

⚠ 警 告
・万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

⚠ 注 意
・ディスクメナットは、必ず付属のディスクスパナを使って十分に締め付けてください。 ・標準付属のディスクウケ B125 は、ミタチブレーキ付 125/180mm ディスクグライнда専用部品です。他のディスクウケは使用しないでください。また、他の製品には使用しないでください。

- 【注】スピンドルロックボタンを押して離したときに、確実にボタンが戻ることを確認して下さい。

■オフセット砥石/フレキシブル砥石の場合



1. 取り付け方

- （1）スピンドルを上に向け、ディスクウケBの裏側の小判形の凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取り付けます。
- （2）ディスクウケBの上に砥石の突出部を当てます。
- （3）砥石の上からディスクメナットの凸部（φ22）を砥石側にしてスピンドルに取り付けます。
- （4）スピンドルロックを押してスピンドルを固定し、ディスクスパナでディスクメナットを十分締め付けます。

2. 取り外し方

砥石を取り外す場合は、上記の取り付けと逆の手順で行います。

本製品の特性について

本製品は特性として、下記の制御を行っています。

特 性	内 容
ブレーキ機能	スイッチを OFF にしたとき、電氣的に回転を止めます。

また、下記の制御を行っています。

特 性	表示ランプ	内 容
ソフトスタート	緑 点灯	スイッチを ON にしたとき、反動を抑えスムーズに回転を始めます。
過負荷保護機能	赤 点滅	作業中に一定以上の負荷が加わると、モータが停止します。
キックバック軽減機能	赤 点滅	砥石のかみ込みなどによる異常が発生したとき、急激な回転数低下を検知して自動停止します。その際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから急激な回転数低下の要因を取り除いてください。その後、再度スイッチを入れてください。 【注】 本機能はキックバックそのものを防止するものではありません。
再起動防止機能	赤 点灯	スイッチを入れた状態で電源プラグを電源コンセントに差し込んでも起動しません。スイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。

ご使用方法

⚠ 警 告
・ご使用前に次のことを確認して下さい。 1～5については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。 誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
・本機に衝撃をかけると砥石にヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意して下さい。

⚠ 注 意
・本機のスイッチを入れるときには、本機の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。 接触していることを知らずにスイッチを入れると、砥石などが破壊することがあり、けがの原因になります。

1. 使用電源の確認

- ・必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモータの回転数が異常に高速になり、先端工具や機体が破壊、破損する恐れがあります。
- ・また、直流電源、エンジン発電機では使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることの確認

- ・スイッチが入っているのを知らずに電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチが切れていることを必ず確認してください。

3. ディスクカバーの確認

- ・ディスクカバーは砥石が破壊した場合に使用者を保護するためのものですから、必ず取り付けてください。ディスクカバーは、小ねじ（2本）を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は、小ねじ（2本）を確実に締付けてください。

4. スピンドルロックの確認

- ・砥石交換後は、スピンドルロックが確実に戻っていることを確かめてください。スピンドルロックが確実に戻っておらず、スピンドルが固定されたまま使用されると、破壊の原因になり大変危険です。

5. 砥石の確認

- ・砥石は正規のものか、またヒビや割れ、破壊等がないか十分にお調べください。
- ・砥石は正規の状態に取り付けられ、十分締め付けられているか点検してください。

6. 電源プラグを電源コンセントにさし込む

- ・電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

7. 試運転を行う

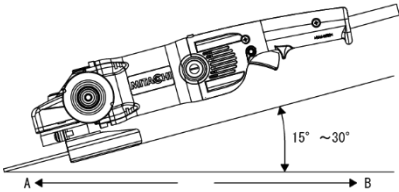
- ・砥石にヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。けがの原因になります。
- ・作業前に人のいない方向に砥石に向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。
試運転時間は……
先端工具交換のとき …………… 3 分間以上
その日の作業開始のとき …………… 1 分間以上です。

【注】

- ＊ モータが回転中は、スピンドルロックボタンを押さないでください。またロックボタンを押したままスイッチを入れないでください。
- ＊ 砥石は材料に強く押し付けしないでください。本機自身の重さで研削できますから材料に軽くあてる程度に保持してください。
- ＊ 強く押し付けると回転が落ち仕上げ面がきたなくなります。また過負荷になってモータを焼損する原因になります。

8. 押し付け角度と砥石の進め方

・砥石の全面を材料に当てないで、下図のように本機を15° ～30° 傾けて、砥石の外周部で研削してください。

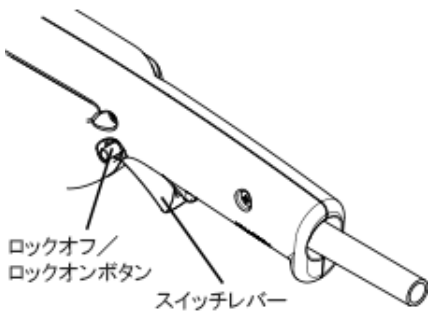


- * 新しい砥石は、前(A方向)に押しますと、砥石が加工面に食い込むことがありますから、後(B方向)に引いて使用してください。
- * 砥石の角が取れましたら、どちらの方向にも進めることができます。

9. スイッチの操作

注 ・スイッチ操作に際し、ロックオフボタンを押さずにスイッチレバーを強く引かないでください。

・スイッチは不用意に入らないようになっています。スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引けば入り、離すと切れます。スイッチレバーを引いてからロックオンボタンを押し込むとスイッチレバーが固定され連続運転します。停止させるにはもう一度スイッチレバーを引いてロックオンボタンが戻ってからスイッチレバーを離してください。スイッチレバーを離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



10. 使用直後の注意

・使用後はスイッチを切り、砥石などの回転が止まってから本機を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあり、本機の寿命を早めたり、事故の原因となりますのでご注意ください。

別売部品の取り付け方

警告

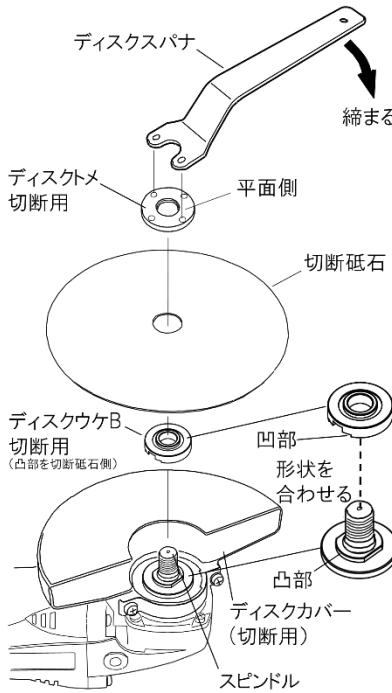
- ・万一の事故を防止するため、別売部品の取り付け、取り外しの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・別売部品を使用の場合も必ずディスクカバーを取り付け、保護メガネを使用してください。
- ・別売部品は各機種ごとに記載された外径を超えるものは使用しないでください。

■切断砥石の場合

切断砥石は金属用と非金属用があります。

鉄などの切断には金属用切断砥石をご使用ください。

切断砥石をご使用になるときは、必ず別売りのディスクカバー(切断砥石用)とディスクウケ(切断用)、ディスクメナット(切断用)を取り付けてご使用ください。



1. 取り付け方

- (1) 砥石(オフセット砥石)用のディスクカバーをはずし、切断カバー(切断砥石用)を取り付けます。
- (2) スピンドルを上に向け、ディスクウケB(切断用)を取り付けます。
- (3) ディスクウケB(切断用)の上に切断砥石を取り付けます。
- (4) 切断砥石の上からディスクメナット(切断用)凹部を切断砥石側にして、スピンドルに取り付けます。
- (5) スピンドルロックを押してスピンドルを固定し、ディスクスパナでディスクメナット(切断用)を十分締め付けます。

2. 取り外し方

切断砥石を取り外す場合は、上記の取り付け方と逆の手順で行ないます。

- 切断砥石は、最高使用周速度が72m/s(4,300m/min)以上の補強した砥石をご使用ください。
 - レジノイド切断砥石をご使用の際は、必ず切断砥石用カバー(別売品)を装着してください。
- 関連法令[研削盤等構造規格 第3章 21条]

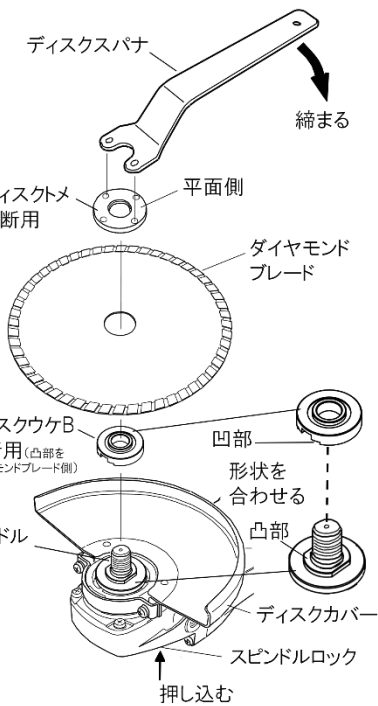
■ダイヤモンドブレードの場合

警告

- ・使用前に、必ずダイヤモンドブレードにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- ・水や研削油などをかけて使用しないでください。
- ・切削方向によって反力があるので機体を確実に保持してください。

注意

- ・砥石と同様に試運転を行なって、異常がないことを確認してください。



1. 取り付け方

- (1) スピンドルを上に向け、スピンドルにディスクウケB(切断用)、ダイヤモンドブレード、ディスクメナット(切断用)の順に取り付けます。
- (2) ディスクウケB(切断用)は、φ22の凸部をダイヤモンドブレード側にしてスピンドルに取り付けます。
- (3) ディスクウケB(切断用)の上にダイヤモンドブレードを取り付け、ディスクメナット(切断用)の凹部をダイヤモンドブレード側にしてスピンドルに取り付けます。
- (4) スピンドルロックを押してスピンドルを固定し、ディスクスパナでディスクメナットを十分締め付けます。

2. 取り外し方

ダイヤモンドブレードを取り外す場合は、上記の取り付け方と逆の手順で行ないます。

■ 市販されているダイヤモンドブレードの中にはアダプターの付いているものがあります。その場合、刃物に付属されている取扱説明書に従い、正しく取付けて使用してください。

保守・点検

警告

・点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1. 各部ねじ点検……

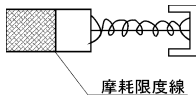
・各部取り付けねじで緩んでいる箇所がないかどうか定期的に点検してください。もし緩んでいる箇所がありましたら締め直してください。緩んだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

2. 砥石の取替え時期……

・砥石の外径が 2/3 ぐらいまで摩耗しましたら、新品と交換してください。

3. カーボンブラシの点検……

・モータ部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モータの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度になる前に新品と交換してください。



また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、カーボンホルダー内で円滑に動く様においてください。

〔ご注意〕 新品と交換の際は必ずサンコーミタチ純正のカーボンブラシをご使用ください。カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでホルダーキャップを外しますと取り出せます。

4. モータ部の取り扱いについて……

・モータ部の巻線部分にキズをつけたり、ゴミ・油・水等をつけたりしないよう十分注意してください。

注

モータ内部にゴミやほこりがたまりますと、故障の原因となります。定期的にモータを無負荷運転させて、風取り入れ口の風窓からエアークンなどで湿気のない空気を吹き込みますと、内部のゴミやほこりの排出に効果があります。

ご修理の際は

重 要 ： 本機は厳密な精度で製造されています。従いまして、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターにお申し付けください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に記載されている製造番号などを下欄にメモしておかれま
すと、修理を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店 (TEL)				

サンコーミタチ株式会社

〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目12番10号 Zrビル

TEL (03)6657-6901(代) FAX (03)6657-6902

ホームページ <https://www.sanko-mitachi.com>

* 製品および付属品は、改良のため仕様や外観を予告なしに変更することがあります。